



道産CLTを用いたダイナミックな木造建築物の建設

概要 Abstract

林産試験場では、CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）の新たな利用方法の提案と多雪寒冷地での実証を行うために、北海道産カラマツ・トドマツを用いたCLT性能評価実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」を構内に建設しました。積雪時の屋根パネルの変形、壁パネル表面の形状変化、内外装の耐候性、断熱・気密性能などを長期間検証し、道産CLTの優位性を活かした設計・施工法を提案する予定です。



名称：Hokkaido CLT Pavilion
住所：北海道旭川市西神楽1線10号
設計者：株式会社遠藤建築アトリエ
構造：CLTパネル工法
床面積：83.44㎡ 建築面積：115.36㎡

成果 Results

※ 国土交通省「平成29年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」補助

建設状況



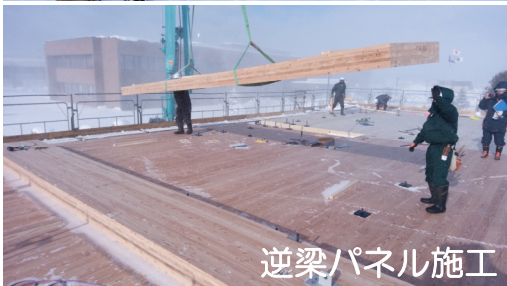
床パネル施工



壁パネル施工



屋根パネル施工



逆梁パネル施工



壁用接合ビス



屋根パネル間の接合ビス

・鋼製杭と基礎鉄骨施工（4日）＋CLTパネル施工（5日）＝計9日間で躯体工事が完了

完成



普及 Dissemination

本実験棟は令和2年度木材利用優良施設コンクールにて審査委員会特別賞を受賞するなど、合わせて4つの賞を受賞し、多方面から評価をいただいております。今後も道産CLTの普及促進に努めていきます。

連絡先 Contact

林産試験場 技術部 生産技術グループ Tel：0166-75-4262 Mail：rinsan-web@ml.hro.or.jp